

# 外国語(英語)科学習指導案

北広島町立芸北中学校

指導者 T1

T2

- 1 日時 令和 年 月 日 ( ) 5校時
- 2 場所 2年生教室
- 3 学年 2学年 名 (男子 名 女子 名)
- 4 単元名 Unit 3 “Career Day”  
NEW HORIZON English Course Book 2 (東京書籍)

## 5 単元について

### (1) 単元観

本単元では、レストランでの職場体験についての注意の読み取りから、体験の感想についての対話、新聞社での体験レポートの読み取りを扱う。職場体験は毎年夏季休業中に実施しているため、生徒にとって身近な題材である。言語材料は、to 不定詞 (副詞的用法, 名詞的用法, 形容詞的用法) である。本教材では want to~や want to be~を用いて、自分の就きたい職業やしたいことについて表現されている。そこで、want to~の表現を用いて自分の行きたいところやその理由を述べる活動を取り入れていく。

上記の内容は、中学校学習指導要領外国語「2 ア 聞くこと (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。」、「2 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」、「2 イ 話すこと (オ) 与えられたテーマについて簡単にスピーチをすること。」に位置づけられている。

### (2) 生徒観

本学年の生徒に対し1年次の年度末、英語の学習に対するアンケートを実施したところ、下記のような結果となった。

質問	思う	思わない
英語でまとまった内容を話していたと思う	90%	10%
与えられた話題について即興で話していたと思う	30%	70%

このことから、話すことを事前に準備すると英語で話すことはできるが、即興で英語を話すことを困難に感じている生徒が多いことが分かる。

この結果を受け、授業中の帯学習において即興で話す活動 (スモールトーク) を取り入れて即興で話す場を計画的に取り入れた指導を行ってきたが、知っている単語を並べてでも相手に伝えようとする生徒は少ない。また、正確に話そうとするあまり流暢さに欠ける生徒が多く見られる。

### (3) 指導観

本単元で学習する不定詞は「to+動詞の原形」の形を用いるため、一般動詞が重要な単語となる。しかし、to の後に三単現の s をつけたり、過去形のままにしたりする可能性が予想されるため、基本文型の定着を図る。そのために、単元の前半では不定詞3用法を用いた英作文を授業の帯学習で行い、後半では不定詞3用法を用いて自分の考えを述べる言語活動に取り組む。

本時は単元の後半にあたるため、不定詞の文型を理解したうえで話されているか、また相手の意見を聞き、即興で反応することができるかどうかを図っていく。そのためにディスカッションを行

う。即興で話すことを苦手としている生徒が多いため、ジェスチャーを用いるなどしてディスカッションのテンポを落とさないよう指導する。また、ディスカッションの振り返りを行う中で反応するときの表現を増やしていく。

## 6 単元の目標

- ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話そうとする。 (関心・意欲・態度)
- 自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。 (外国語表現の能力)
- 書かれてある英文を読んで理解することができる。 (外国語理解の能力)
- 不定詞3用法の意味・用法に関する知識を身につける。 (知識・理解)

## 7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
○間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションを図っている。	○自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。	○相手が話す英文の内容を理解できる。 ○書かれてある英文を読んで理解することができる。	○不定詞3用法の文型と意味を理解している。

## 8 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
自分の考えを表現し、他人の考えを聞く。	多面的・多角的な見方・考え方	自分の考えを表現するだけでなく、他人の考えを聞き質問しあうことができる。

## 9 指導と評価の計画 (全8時間)

	学習内容	評 価					
		関心	表現	理解	知識	○評価規準 (評価方法)	★資質・能力の評価 (評価方法)
1	<b>課題の設定</b> ・自分の伝えたいことについて理由も含め伝えるには、どんな表現ができるか考える。 <b>情報収集</b> <b>整理・分析</b> Part1 ・不定詞 (副詞的用法) を理解する。				◎	◎不定詞3用法 (副詞的用法) の文型と意味を理解している。(観察・ワークシート)	
2	Part2 ・不定詞 (名詞的用法) を理解する。				◎	◎不定詞3用法 (名詞的用法) の文型と意味を理解している。(観察・ワークシート)	
3	Part3 ・不定詞 (形容詞的用法) を理解する。				◎	◎不定詞3用法 (形容詞的用法) の文型と意味を理解している。(観察・ワークシート)	
4	Part4 ・不定詞3用法を用いた文章を読み、質問に答える。			◎		◎書かれている英文を読んで理解することができる。(観察)	

5	<b>Part5</b> ・話されるインタビューを聞き取り，質問に答える。 ・教科書に載っている場所から行きたい国を選び，ペアで会話する。	○	◎	◎相手が話す英文の内容を理解できる。（ワークシート） ○自分の行きたい場所について理由も含め話すことができる。（観察・ワークシート）	
6	<b>創造・表現</b> 日本で行きたい場所を話す活動 ・グループで話し合う。 ・自分の意見を理由とともに述べる。		◎	◎自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。（観察・ワークシート）	自分の考えを表現及び，他人の考えを聞く（観察・ワークシート）
7	世界で行きたい場所について話す活動 ・グループで話し合う。 ・自分の意見を理由とともに述べる。		◎	◎自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。（観察・ワークシート）	自分の考えを表現及び，他人の考えを聞く（観察・ワークシート）
後日	<b>まとめ・創造・表現</b> 自分の行きたい場所について発表する ・行きたい国についてクラスで発表する。	○	◎	○間違いを恐れず，積極的にコミュニケーションを図っている。（観察） ◎自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。（観察・ワークシート）	自分の考えを表現及び，他人の考えを聞く（観察・ワークシート）

10 本時の展開

(1) 本時の目標

自分の行きたい国とその理由を即興で伝え合うことができる。

(2) 本時の評価規準

○自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。

【外国語表現の能力】

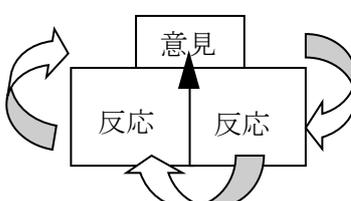
(3) 資質・能力の評価規準

自分の考えを表現するだけでなく、他人の考えを聞き反応する。【多面的・多角的な見方・考え方】

(4) 準備物

ワークシート, タブレット端末

(5) 本時の学習展開

	学習活動と主な発問	◇指導上の留意点 (◆配慮を要する生徒への支援)	評価規準 (評価方法) ☆観点別評価 ★資質・能力の評価
導入	1 Warm-Up (7分) ・あいさつ  ・small talk ・ペアで1分間話す。 “Where do you want to go during summer vacation?”	◇クラスルームイングリッシュを使用することで英語を話す雰囲気を作る。  ◇want to を本時で使うため, want to で考えを表現する。 ◇「～に行きたい」という例を指導者が提示することで, 生徒が考えやすいようにする。 ◇言いたかったのに言えなかった表現があるか全体で確認する。	
展開	・本時のめあての確認  自分の行きたい国とその理由を即興で伝え合うことができる。		
	2 グループ活動 (35分) ①ディスカッションボードとカードをもらう  ②活動の説明を聞く ・3人のうち1人が考えを言い, 残り2人が即興で自分の考えを述べたり質問したりする。 ・1度選ばれたカードは再度選ぶことができない。 ・最終的に各グループで6カ国から行きたい国を1つ選ぶ。	◇3人グループになり, ヒントカードに書かれている英文を読む。  ◆読めない単語がある時は, 指導者の後に続いて復唱させる。  ◇1人2回ずつ発表することができるように国のカードは6枚用意する。  ◇会話のテンポを重視するため, 反応する人は語順等がバラバラでもかまわないので, 会話のテンポを落とさないように気をつけることを伝える。  ◆反応表現一覧プリントを参考にして, 1語でもいいので反応するように伝える。	
		※役割は国ごとに交代する。 ※ ▲ はヒントカード	

展 開	<p>③ディスカッション（１）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(Aさん) I want to visit Italy. I want to eat pizza. Because it has many food to eat. How about you?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(Bさん) That sounds good. I want to visit Italy, too. Because I like Italian food. So, I want to go there to eat it. How about you?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(Cさん) Oh, really? I have a different idea. I don't want to visit Italy. Because I don't like to eat Italian food.</p> </div> <p>④振り返り ・ディスカッション後、簡単に振り返りをする。</p> <p>⑤ディスカッション（２）</p>	<p>◇ヒントカードを見ながら自分の考えを話す。ディスカッション（１）ではヒントの型に当てはめながら話す。</p> <p>◆反応する際は、ジェスチャーや絵を描くなどをしても、相手に思いや疑問を伝えられることを伝え、やってみるように促す。</p> <p>◇ディスカッション（１）で、言いたかったけど言えなかった表現があるかを全体で確認する。 ◆言えなかった表現は復唱させ、ディスカッション（２）で使えるようにする。 ◇相手の話に反応するときに、いい表現があれば全体に伝える。</p> <p>◇ディスカッション（１）で使用したカードではなく、新たに６カ国のカードを配ることでその国について知っている知識を使いながら話す機会を与える。 ◇様々な人の考えを理解するためにメンバーを替え、自分の考えだけでなく他人のものの見方・考え方を理解させる。 ◇ディスカッション（１）で基本文型を使って表現したため、ディスカッション（２）ではヒントカードを与えず考えを述べさせる。 ◆表現することに困っている生徒がいれば、他の生徒に見えないようにヒントカードを見せる。</p>	<p>☆【外国語表現の能力】 ○自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。（観察） ★【多面的・多角的な見方・考え方】 ○自分の考えを表現するだけでなく、他人の考えを聞き質問しあうことができる。（観察）</p>
ま と め	<p>3 自分の行きたい国について話す（7分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) I want to visit Asia. I want to visit China. Because it has many pandas to see. So, I want to go there to see them.</p> </div>	<p>◇評価をするためにタブレット端末を使い録音する。 ◆単語が分からない生徒には、和英辞書を用いて調べさせる。 ◆英作文が苦手な生徒にはどの文型を使うかを提示して表現しやすいようにする。</p>	<p>☆【外国語表現の能力】 ○自分の行きたい場所について不定詞を用いて即興で伝え合う。（後日スピーキングテストを行う）</p>

	4 振り返りを書く（1分）	◇本時の活動の中で「自分が活動を通してできたところ」を書かせる。
--	---------------	----------------------------------

1.1 単元末パフォーマンス課題

○パフォーマンス課題：既習事項を活用して、テーマに基づいて自分の考えを話す。

○評価規準：自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 【外国語表現の能力】

<b>A</b> (十分満足)	○不定詞3用法を用いながら話している。 ○その国に関する知識を交えながら自分の考えを5文以上話している。 ○用いた文法を間違えることなく話している。	<b>【例】</b> I want to visit Australia. Because it has a lot of kangaroos and koalas to see. I want to go there to see them. I also want to go to Sydney. It has a famous building. I want to take pictures there.
<b>B</b> (おおむね満足)	○不定詞3用法を用いながら話している。 ○その国に関する知識を交えながら自分の考えを4文話している。 ○内容を理解する上で支障はないが、文法の誤りが1～3箇所ある。	<b>【例】</b> I want to visit Australia. Because it have a lot of kangaroos and koalas see. I like them. So, I want to go there to see them.
<b>C</b> (努力を要する)	○Bに達していない。	<b>【例】</b> I visit Australia. Kangaroos and koalas. I see them.